# ユーザーからの要望

## 2023年度MLFユーザーアンケートのコメントから

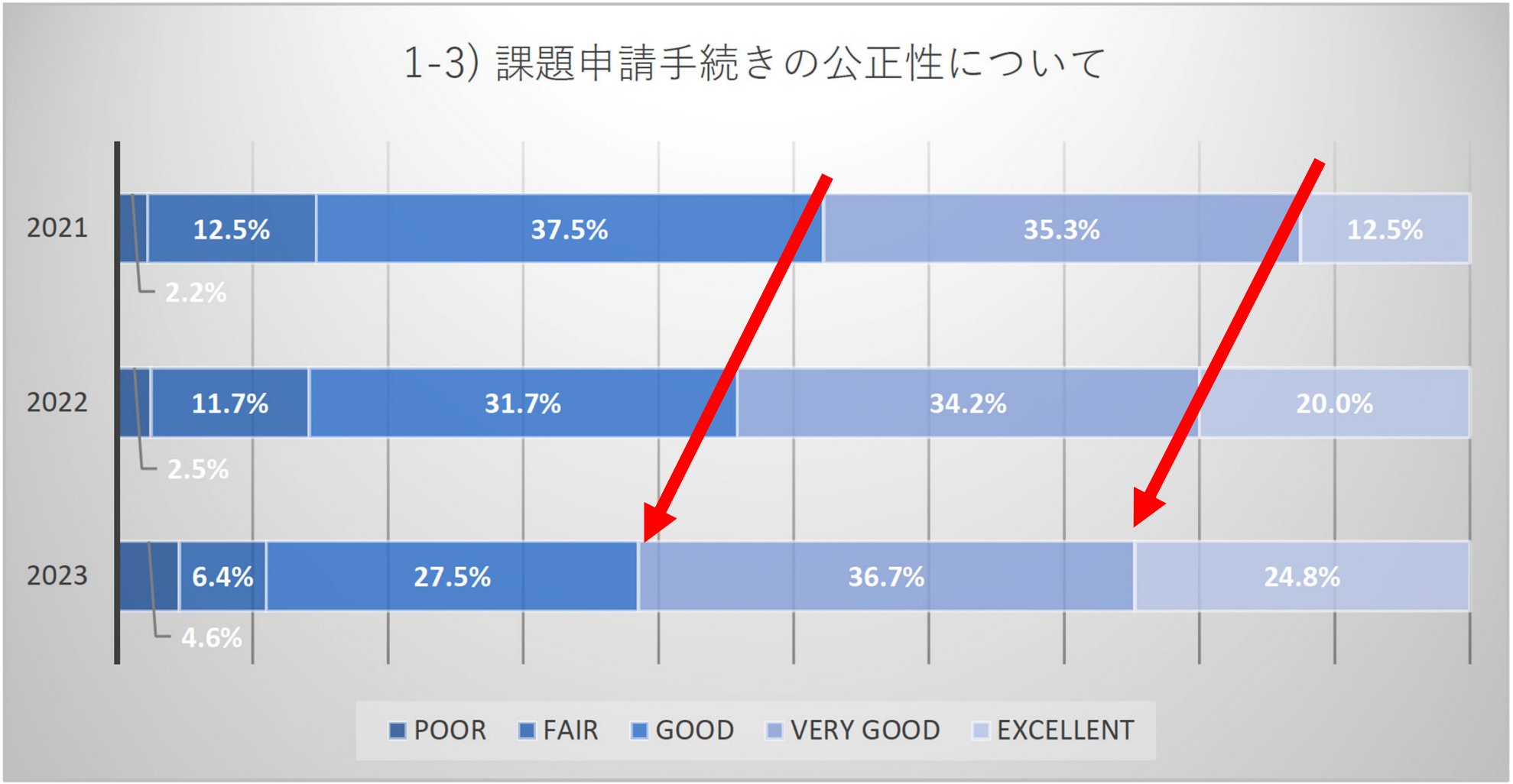
2024年3月

MLF利用者懇談会

アンケート結果と、MLFからの回答は
利用懇HPで後日公開します。（3月末ころ）

# 一番大事なこと:　PACの公平性

2023年度アンケート結果




着実に増加（6割が満足）

分科会：　７～１０人
　　１名程度外国人を含む

# 課題審査の流れ

分科会が１課題につき３名のレフリーを選ぶ

↓

３レフリーが０～５点で採点

↓

分科会を対面で開催。
全ての課題で、担当委員が、学術的重要性を説明。
その上で、評点とレフリーコメントをすべてチェック。

↓

以下の場合、評点について慎重に議論し、必要があれば修正

明らかに不当な評価・不適切なコメント
一人だけ極端な評点
コメントと評点が整合しない。
コメントが貧弱（要約だけとか）

のべ約１０人の専門家の目でチェックして、評点はきまっている。

# ユーザーのコメント：　公平性

・弊社のような零細企業であっても実験の実施に至ったことは、御施設の公平性を証明するものと考えます。

・複数人で審査していただいているようなので、公平性が高いと思う。

ー＞　少数ながらまだ不公平という不満はあるので、継続して公平性のアピールをお願いしたい。
利用懇でも発信していく。

MLFへの質問

「SPring-8のように相対評価にしてはどうか」という提案が継続的にある。検討いただいているか？

# MLFへの質問

実験後の報告書の提出の厳格化
試料・機器の事前安全審査の締切の厳格化

成果非公開の料金の値上げ

背景の説明をお願いしたい。

# 利用懇からの要望

アンケートでの要望を幹事会で検討し、選抜

１: 静謐かつ区切られたプライベートスペースが必要
（ お祈りの場所、オンライン会議）。

２ 安全講習の動画は、すべて事前にオンラインで受講できるようにしてほしい。
週末祝日の安全講習は装置担当者なしでも受講できるようにしてほしい。

３: 装置PCとは独立なデータ解析クラスターサーバーが欲しい

４:　ドミトリーからのリモート測定を可能にしてほしい。

５:　MLF内での荷物の受け取り、発送は可能にならないか。

# 昨年度:利用懇からの要望:　移動手段

ユーザーからはドミトリーとMLF間の移動手段について継続して強い要望がある

施設の対応

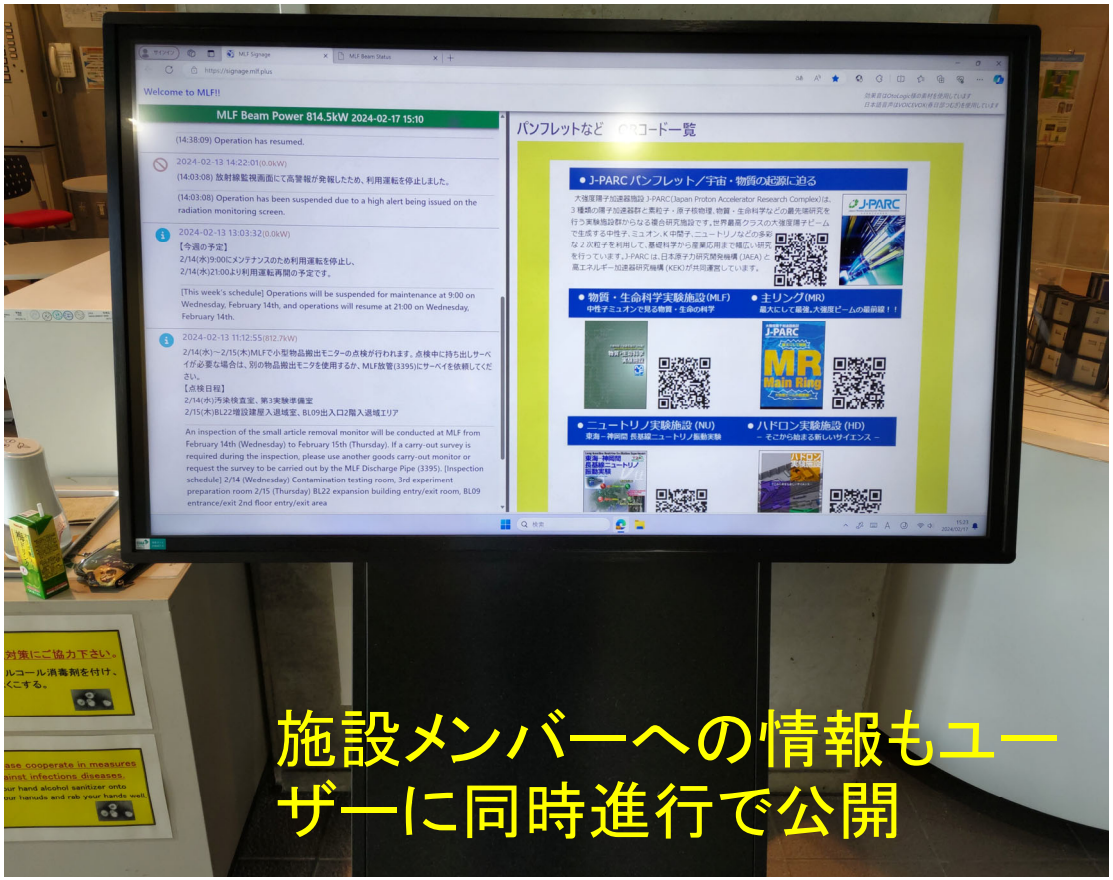
カーシェアリング、ジャンボタクシーを試行的の開始したのは英断であり、感謝したい。

まだ知らないユーザーも多いので、さらにアピールをお願いしたい。

# ユーザーのコメント：
## MLF稼働状況の情報提供

・再開見込みが立たない、もしくは長期の停止になる場合は、ユーザーに直接連絡が欲しいです。装置担当者経由だと深夜などはわかりません。

・故障理由をディスプレイ上に表示してほしい。




施設メンバーへの情報もユーザーに同時進行で公開

ドミトリーでもみられる